

予算決算委員会総務政策分科会会議録

招 集

令和5年12月14日(木) 午前10時 議会委員会室

出席委員(9名)

(分科会長) 渡 辺 穰 爾 (副分科会長) 吉 岡 古 都
伊 藤 ひろえ 稲 田 清 岩 崎 康 朗 門 脇 一 男
国 頭 靖 津 田 幸 一 森 谷 司

欠席委員(0名)

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】 下関部長 辻統括調整監 松本防災安全監

[秘書広報課] 幸本課長

[総務管財課] 角課長

[防災安全課] 田中課長

[調査課] 足立課長 畠中担当課長補佐

[職員課] 伊藤課長 楠課長補佐兼人事担当課長補佐 松永給与担当課長補佐

[財政課] 金川課長 大塚課長補佐兼総括主計員 岩永係長

[契約検査課] 足立課長

[情報政策課] 最上課長 福留課長補佐

[営繕課] 前田次長兼課長

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 松下調整官 田中庶務担当係長

傍 聴 者

安達議員 大下議員 岡田議員 田村議員 塚田議員 徳田議員 戸田議員 錦織議員
西野議員 又野議員 松田議員 森田議員 矢田貝議員
報道機関 2人 一般 4人

審査事件

議案第102号 令和5年度米子市一般会計補正予算(補正第6回)のうち当分科
会所管部分

~~~~~

### 午前10時08分 開会

○渡辺分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、12月12日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会審査担当とされました議案1件について審査をいたします。

議案第102号、令和5年度米子市一般会計補正予算(補正第6回)のうち、総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

金川財政課長。

**○金川財政課長** 議案第102号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第6回）のうち、本分科会に付託されました総務部所管の補正予算について御説明いたします。

予算説明資料としてお配りしております歳出予算の事業の概要により説明させていただきます。なお、この資料につきましては、紙の資料と電子データの資料、ページ番号が異なっておりますので、双方を読み上げさせていただきます。申し訳ございません。

それでは、通知をお開きください。電子データ17ページ、紙資料の3ページでございます。まず、上の段の鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糶町庁舎整備等事業として112万8,000円を計上しております。これは、令和5年度から令和14年度における当該施設整備費の割賦支払いに係る基準金利が確定し、利率が当初の見込みを上回ったため、令和5年度の利息の増額分を計上するものでございます。

このほか、人事院勧告を踏まえた給与改定及び人事異動等に伴う人件費の実績見込み並びに特別職の期末手当の改定による人件費の増によるものでございますが、まず、電子データ16ページ、紙の2ページに戻っていただきまして、議会事務局職員人件費と市議会議員報酬等、次の電子データ17ページ、紙の3ページに進んでいただきまして、下の段の一般管理費人件費、続いて、電子データ18ページ、紙の4ページに進んでいただきまして、特別職人件費と会計年度任用短時間勤務職員報酬等、続いて、少し飛びますが、電子データの23ページに進んでいただきまして、紙では9ページでございますが、選挙管理委員会事務局職員人件費と統計調査総務費人件費、次の電子データ24ページ、紙の10ページに進んでいただきまして、上の段の監査委員事務局人件費、少し飛びますが、電子データの38ページ、紙の24ページに進んでいただきまして、下の段の都市計画総務費人件費につきまして、それぞれ所要の人件費を計上しております。

次に、債務負担行為でございますが、令和5年度米子市補正予算書により説明させていただきます。通知をお開きください。資料の9ページでございます。債務負担行為の一番上の項目の鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糶町庁舎整備等事業として、令和6年度から令和14年度までの期間で限度額656万7,000円を計上しております。これは、施設整備費の割賦支払いに係る基準金利が確定したことによる利息の増額分と維持管理経費の物価スライドによる増額分について、債務負担行為を設定するものでございます。説明は以上でございます。

**○渡辺分科会長** 当局の説明は終わりました。

意見のある委員の方は挙手をお願いします。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 糶町庁舎の整備の事業について伺いたいんですが、基準の金利にしてたものがなくなってしまったということで、なかなか起こらないことではないかと思って、対応も大変だったのかなと思いますが、今採用してるものと比較が難しいなと思ったので、契約時点の令和3年2月25日の基準金利が0.058%なんですが、後継金利のTSRがその時点で何%だったかっていう比較を教えてくださいたいです。

**○渡辺分科会長** 足立調査課長。

**○足立調査課長** もともと基準金利にしましたLIBORと後継指標のTSRフォールバックのそれぞれの基準金利についてというお尋ねですが、契約締結時といいますか、ま

ず一番最初に0.058ということを決めたのは、要は事業提案があったときという形になりますので、それは契約締結時の金利と一緒にという形になります。先ほど言いました0.058%ということになります。後継指標として決めましたTSRフォールバックについてですけれども、その時点ではまだ公開前でございます、公開がありました22年の1月時点での金利につきましては0.144%、そして、このたび基準金利が、確定日ということで確定しました金利が0.981%ということになります。以上です。

**○渡辺分科会長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** どの金利にしても、ちょっとずつ今現在は上がってきているので、何か金利が高くなったのか安くなったのかっていうのもすごく判断がしにくいところだなというふうに思ったんですが、LIBORが停止になった場合に日銀が後継金利を示すっていうような話があったんですけど、その中でTSRを選んだ理由っていうのは何があるんですか。

**○渡辺分科会長** 足立調査課長。

**○足立調査課長** そうしますと、TSRフォールバックを採用するに至った経緯ということについてでございます。少しちょっと丁寧に説明させていただきます。

今、吉岡委員が言われたように、本契約の中で、基準金利確定日においてLIBORが停止された場合ということで、日本銀行が定める指標を用いるものとするということをもともとうたっておりました。それで、実際にLIBORが停止になりまして、TSRフォールバックにつきましては、日本銀行が構成員ともなっております日本円金利指標に関する検討委員会において、その考え方及び方式がLIBORの公表停止時の後継指標として使用可能ということで評価されたものになります。

そして、もう一つありますのが、これ、事業者の関係機関とか、融資した機関にちょっとお聞きしてるところがあるんですが、契約書類にて規定する基準金利の決定方法の前提に、事業リスクですとか資金調達のコストなどを精査して融資の決定を行っているという状況がございます。そうすると、もともとLIBORを基準にしてそういったもの、金融機関との金利等々が決まってくるので、LIBORとの連続性があるTSRフォールバックというものが適当という意見もいただいております。全て総合して評価をいたしまして、TSRフォールバックを採用するというに至ったことでございます。以上です。

**○渡辺分科会長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** 分かったような分からないような、なんですけど、ぱっと数字だけ見ると、すごく市民の方とかはえらい金利が上がったなっていうふうに思われるかもしれないので、その辺り私たちもちゃんと説明ができるようにしておかないといけないなと思います。ありがとうございました。

**○渡辺分科会長** ほかに。

ないようですので、以上で総務部所管の審査を終了いたします。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午前10時18分 休憩**

**午前11時33分 再開**

**○渡辺分科会長** それでは、予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見取りまとめを行いたいと思いますけれども、御意見、御発言がありますか。

〔「なし」と声あり〕

○渡辺分科会長 それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午前 11 時 33 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 渡 辺 穰 爾